

---

# 僕と彼女

葵はるな

---

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

### 【小説タイトル】

僕と彼女

### 【Nコード】

N7089I

### 【作者名】

葵はるな

### 【あらすじ】

鷹山陸、23歳。彼が手がけたアーティストは必ず売れると評判の敏腕音楽プロデューサー。彼はある日、きまぐれでギターを抱えた少女に声をかけてしまった。彼女はそれを本気にしてしまい、音楽の世界に飛び込んだ。

〔第1章〕 bouton 1 :それでも蝶は舞う

今思えば、彼女に声をかけたのは、僕のきまぐれだったんだ。

彼女は知らないだろうけど、僕は彼女が思っているほど純情な人間じゃない。

でも、今はこんなにも彼女に執着している。

きまぐれだった。本当に僕の勝手だった。

最初は、全部遊びだったんだ。

僕は才能のある人しか選ばない。

それに、もうその才能が花開いている人にしか、僕は全くもって興味がない。

そうじゃないと、僕が育てなきゃならないし。

面倒なことが僕は1番嫌いだ。

だから、彼女のことはどうでもよかった。

彼女が僕の身勝手な都合でどうなろうと、僕には関係ない。

はずだった。

けど、彼女のまっすぐな心だとか、絶対に揺るがない夢だとか、

憧れだとか。

夢物語だと思っていたことも、彼女なら叶えられるんじゃないかってどこかで期待してる自分がある。

今更、責任をとろうなんて思ってないし、そもそもそんな柄じゃないし。

僕は僕で、彼女は彼女だ。

でも、彼女は僕の後ろをついてくる。

1ミリも疑うことなく、僕を信じきっている。

そんな彼女に伝えてあげたいと思うのは、僕が偽善者だからなのか？

それが僕のやらなきゃならないことだからなのか？

けれど、僕がアシストしなくたって、彼女はいつかこの世界に入ってきただろう。

彼女はもともと、この世界の住人だ。

僕以外の誰かが、彼女をプロデュースして、彼女を引っ張って行く。

そして、僕のことなんか頼らないまま、その頂点に君臨するのだらう。

それを、僕がやるのか、別の人間がやるのか、それだけの違いだ。

最近、時々そんなことを考えるけれど、そうやって悩んでも、現実は何も変わらなくて。

むしろ、僕が彼女に深く関わっていることを、再確認するだけで。

彼女に惹かれていて自分をなんとか誤魔化そうとして、彼女に根拠のない嘘について、訳のわからない罪悪感に苛まれる日々。

なのに、無情にも、僕の頭には毎日のように彼女がいる。

彼女のことを想って詞を書くと、いつも「いい歌だね」って言われる。

彼女にこれっぽちも悪いなんて思ってないのに、罪滅ぼしをするかのように、歌をつくる。

そうして、僕は今日も生きていく。

〔第1章〕 button 1 : それでも蝶は舞う(後書き)

長い長い前置きですいません。

書いておいたほうが、これから便利かと。

あらすじも簡潔すぎて、わかりづらいですが。。。

あまり書きすぎるとネタばれしそうなので。

まあ、気ままに読んでください。

## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能たんのうしてください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n7089i/>

---

僕と彼女

2011年1月16日05時27分発行